

編集後記

◆ YAHOO!でウズベキスタンを探してみました。Uzbekistan Lifeというホームページがあって、17648番目の訪問者になりました。旧ソ連から独立した国々の一つで、日本の1.4倍の面積に、5分の1の人口、約2,200万人が住んでいるのだそうです。首都はタシケント。この地名には中学の地理の教科書で記憶があります。石原さんが、この知られざる国、ウズベキスタンの金鉱床について書いて下さいました。表紙や口絵の写真は、昨年夏の巡検に参加された時のものです。

◆ 資源エネルギー地質部の須藤さんが、50万分の1鉱物資源図「中部近畿」作成のために集められた資料をもとに、本号から数回にわたって中部～東海地方の窯業原料について解説記事を連載して下さいます。本号ではまず、東海地方の窯業資源の概要、瀬戸焼とその原料資源の産状や特徴が沢山のフィールド写真と共に記載されています。

◆ 「現代地球化学の父：ゴールドシュミット」は第7章ゲッチングン時代です。寄席でいえば大看板がキラ星のごとく並ぶようなゲッチングン大学に招請されたゴールドシュミットは、鉱物学、化学、物理学を一緒にした教室を作り、彼の生涯でもっとも幸せと思われる研究の日々を過ごしました。この生活は、しかし、長くは続かず、1933年のヒトラー、ナチスによる政権奪取により根元から突き崩されて行きました。1929年にゲッチングンに着任し、1935年にそこを去るまでのおよそ6年間の研究の足跡、共同研究者・同僚との交わり、そして時に垣間見られる愛すべき私(わたくし)の姿が描かれています。

◆ 有珠火山、三宅火山の相つぐ活動ですっかり影をひそめたかのようになってしまいましたが、雲仙火山の科学掘削が始まっています。昨年11月下旬から本年3月末までの4か月間あまりにわたって、雲仙火山の山麓部で750mのボーリング調査が行われました。2月末には、地元の皆さんにこの研究の意味、掘削の方法などをご理解いただくために、掘削工事の現場を公開し、掘抜いた岩石のコアも並べてお見せしました。研究チームリーダーの宇都さんと、産学官連携推進センターからイベントの運営に加わった河村さんによる記事、二つを掲載しました。

◆ 新作地質図紹介は、5万分の1地質図福「木曾福島」です。木曾御嶽山の東部分と、その基盤になっているジュラ紀の堆積岩類(美濃帯)が広い面積を占めています。口絵には御嶽山の遠景(十堆積岩類の作る山並)と変動のつめ痕の残る近景の写真とが配られています。

◆ 朝日新聞の天声人語で、「ケータイ」の加入台数が5,000万台を超え、人々が待つという行為を苦手にしてきている、という文章を見かけました。電話なら「留守」がありますが、ケータイは常に「携帯」しているという前提ですから、受け手が出ないとイライラすることになります。翻って、私はバスで通勤しています。交通事情から、バスはなかなか時間通りには来ません。必ず待たされます。しかし、待てば来る。確実に来ます。バス停で、目の前を走り去る乗用車を眺めつつバスを待つ。来るか来ないか分からない人を待つのではない、自虐的な(?)安心感があります。(湯浅真人)

地質ニュース編集委員会

委員長：湯浅真人

副委員長：石井武政

委員：星住英夫・飯笹幸吉・七山 太・佐々木宗建
佐藤興平・大熊茂雄・前川竜男・木下泰正・
中野 司・遠藤祐二

事務局：総務部業務課広報係(河村幸男・渡辺光次)

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-3

地質調査所 地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-61-3520

Fax. 0298-61-3569

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第552号	2000年	8月号
	定価¥785(本体価格¥748)	〒実費	
2000年8月1日	発行		
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03)3265-0951(代表)		
	Fax. (03)3265-0952		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 エアフォルク		

©2000 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターおよびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。